

令和7年度釧路バレーボール協会 中学校委員会総会 兼 釧路地区中体連バレーボール専門委員会



- 1 日時 令和7年4月16日（水）午後5時30分～
- 2 場所 釧路市立桜が丘中学校4階視聴覚室
釧路市桜ヶ岡6丁目27番12号
TEL 0154-92-0711
FAX 0154-92-0712
- 3 議事進行
 - (1) 令和6年度反省(競技部、指導普及部、審判部、強化部、決算報告 ほか)
 - (2) 令和7年度計画(中学校委員会組織並びに事業計画、予算案 ほか)
 - (3) 日本協会登録について(JVA-MRS)
 - (4) その他(令和7年度新ルールの適用について、指導普及委員会地区委員長会議伝達、北海道公認コーチ申請、複数校合同チーム結成や新チーム以降の複数校合同チームの編成、クラブチーム中体連参加について、釧路十勝定期戦関係 ほか)
 - (5) 質疑応答

釧路バレーボール協会中学校委員会

中学校委員会HP <https://kushiro-jhvolleyball.com/>



中学校委員会 年度反省

《 競技部 》

部長:阿部 周平(幣舞) 副部長:秋保 健太(幣舞)

業務内容	成果と課題	次年度に向けての展望
<p>①大会組み合わせ及び大会要項作成 ・「教育長杯」「新人リーグ戦」「会長杯」「バレーボール選手権」の組み合わせを行い、大会14日前に委員長に確認を取る。確定後参加校へ連絡する。</p>	<p>・4つの大会において、大会要項や組合せを滞りなく作成することができた。 ・Googleフォームを利用した参加確認を行うことができた。 ・大きな体育館を使えず、試合数の確保ができなかった。</p>	<p>・前年度同様に、Googleフォームを用いて参加確認を行う。 ・トーナメント戦の組み方についてご意見をいただいた。チーム数やチーム状況を考慮しながら、試合数を確保したよりよいトーナメント戦を組んでいく。 ・大会の運営についての意見や要望を、可能な範囲でGoogleフォーム等を利用して聞き入れ大会の形式や組み合わせに生かす。</p>
<p>②大会運営 ・開閉会式の進行、試合記録(スコアシート)の作成、管理</p>	<p>・開閉会式についてはその時々の状況を踏まえながら適切に行うことができた。 ・プリンターを購入いただいたため、記録用紙や結果、賞状の印刷を速やかに行うことができた。インクの消費が尋常でない。 ・試合記録も同様に、委員長がその日のうちに、試合後各新聞社(釧路新聞・北海道新聞)に連絡し、各学校にもまとめたものを発送した。</p>	<p>・大会運営については、競技部が中心としての役割を担いながらも、少しずつ運営できる先生方を増やしていきたい。</p>
<p>③試合会場(当番校)との手続き・連絡 ・会場確保の確認と暖房通気願(冬期間大会のみ)の手続きをする。</p>	<p>・市内の中学校を使用する際には、大会日程が決まり次第、早急に確保をする必要がある。</p>	<p>・体育館の広さはもちろん、照明の明るさも配慮しながら会場確保に努める。 ・バスケットの事務局とも相談し、年度当初に、ある程度体育館確保の見通しを持つ。 ・今年度も各校のご協力をお願いしたい。</p>

釧路バレーボール協会中学校委員会

令和6年度 指導普及部反省

指導普及部 高橋 円

	令和6年度の反省	令和7年度の展望
①第1次ジュニアキャンプの企画・運営	・10年ぶりに講師を招いてのジュニアキャンプで、講義もしていただき、生徒だけでなく指導者でも有意義なものとなった。	・釧路町総合体育館が確保。派遣講師は要望なし。 8月5日(火)・6日(水)の予定
②バレーボールフェスティバルの企画・運営	・男子のチーム、小中合同のチームも増え、できた。中学校のチームが午前午後で富中へ移動していただいて感謝。チーム数が多いこともあり、ラインジャッジ講習を実施。	・富原中学校もお借りして町体含め、6面使用で終日行う予定。 ラインジャッジ講習会以外で講習予定。
③指導者講習会の企画 ④若手指導者養成	・ここ数年指導者講習会はできていないので、来年度こそは行いたい。	・全道伝達講習会は、4月5日(土)北翔大学。
⑤優秀選手選抜大会の選手選考と練習	・今年から阿部周平先生が秋季練習会と言うことで6回ほど、練習会を行った。そこから選抜選考会を数回行った。	・例年通り行う予定。 ・新しい指導スタッフや若いスタッフの育成急務。
⑥釧路十勝定期戦	・士幌体育館で行うことができた。	・釧路開催。4月26日(土)町体、富原中。

中学校委員会 年度反省

《 審判部 》

部長:宝輪 秀光(富原) 副部長:吉野 祐介(厚岸)

2025/4/16

業務内容	成果と課題	次年度に向けての展望
○各種大会の審判確保－ 道協会との連絡	<p>・どの大会においても、各カテゴリの審判員の方々に審判要請を行った。中体連は小学校の大会と重なってしまったこともあって、運営が難しい場面もあったが、できる限り外部審判員を依頼せず、相互審判で大会を運営した。</p> <p>・6月以降の大会においては、各カテゴリの審判員の方々に審判要請を行った。</p>	<p>・今後も相互審判を基本に運営していく。大会形式によっては、外部審判員がどうしても必要なため、大会運営の形式が確定した段階で、早急に審判依頼をし、審判員の確保に努める。</p> <p>・令和7年度の中体連については、できる限り外部より審判員の派遣を依頼するが、釧路地区の審判員が高齢化しているとともに、各カテゴリでのチーム数の減少に伴い審判員も減少しており、チームスタッフに審判をお願いすることもご了承願いたい。</p>
○大会運営－審判割り当て、コート点検	<p>・コート設営に関しては、スムーズに行われている。先生方のご協力に感謝します。</p> <p>・相互審判で行うため、勝ち上がりによっては、割り当てが急に決まることとなり、先生方には慌ただしい思いをさせてしまっている。今後ご理解願いたい。</p>	<p>・令和9年度の全道中体連にむけて、主副ができる審判員の育成はもとより、記録を含めた審判員を増やしていく。チームスタッフに割り当てをさせていただくことにもなります。ご理解ください。</p>
○審判の育成	<p>・新人リーグ戦が審判育成の重要な場となっている。今後も有効に活用する。</p> <p>・今後も多くの方に資格取得をお願いしたい。</p>	<p>・釧路地区のために、釧路中体連から、B級、さらにはA級審判員を目指し、全道、全国で活動できる審判員が必要である。</p> <p>・R9年度全道中体連に向けた、審判員の育成と確保が必要である。</p>
○記録・ラインジャッジの指導・育成	<p>・一昨年度行われた全国インターハイ女子釧路大会に向け、ラインジャッジ育成の啓発を行ってきた。意識を持って取り組んでいただいていたと感じている。令和9年度の全道中体連に向けて、指導と育成を継続していく。</p>	<p>・どの大会においても、審判員(指導者)でラインジャッジの指導、育成を行っていかなければなりません。日頃の部活動の指導で育成することは難しいですが、是非意識して声をかけ合い、生徒と指導者と一緒になって成長し合える関係を築いていっていただきたい。なお、審判部として今年度いっぱい指導計画をたて、次年度から本格的に育成を行っていく。</p>
○ルール等に関わる指導		<p>・2025年度のルール変更、ルールの取り扱いについて正式に引継ぎは行われていません。(釧路バレーボール協会の審判委員会は4月16日に行われる予定です。)中体連カテゴリの取り扱いは、5月3日～5日の全道大会で伝達があります。詳細はその後にチームに周知します。</p>

選抜関係（強化） 記入者 阿部（幣舞）

1、強化練習会および選抜選考会の日程

成 果

昨年度より強化練習会を行った。初心者が多い地区になってきていることから、中上級者の練習機会としては概ね好評であった。2次キャンプで扱うような内容を実施し、各チームに還元できる機会として継続していきたい。

課 題

40名程度で実施したが、人数が多すぎて練習機会が限られてしまったことから、今年度は人数をもう少し調整していきたい。

今年度実施予定

強化練習会①	9月21日（日）	強化練習会②	9月28日（日）
強化練習会③	10月19日（日）	強化練習会④	10月26日（日）
強化練習会⑤	11月24日（月）	強化練習会⑥	11月30日（日）
選抜選考会①	12月20日（土）	選抜選考会②	12月21日（日）

2、ユニフォームの購入について

現在、釧路選抜のユニフォームは3着。長袖1着、半袖2着。以前は「優勝したらユニフォームを購入する」ことになっていたが、地区の競技力が低下していることからなかなか購入する機会がない。最後に購入したのは平成27年度。長袖のユニフォームをなかなか活用できていないことから、ユニフォームの購入をさせていただきたい。

3、選抜スタッフの活動費について

選抜スタッフの活動費については、これまで特に設けておらず、時間的拘束や交通費、ジャージなどの備品の購入については完全にボランティアという形で運営してきた。そのため、この後どのくらい選抜活動が続くかわからないが、選抜スタッフ3名および帯同審判員に対して活動費として1万円程度支給させていただき。

現在チーム数の減少から、大会参加費と体育館の使用料が同程度である。そのため、全7大会で大きな体育館を使える場合については、収入と支出のバランスが崩れてしまうことが課題となる。

令和6年度 釧路バレーボール協会中学校委員会 会計決算報告書

収入の部

摘要	RO6予算	RO6決算	増減	備考
前年度繰越し金	1,116,963	1,116,963	0	
大会参加料（教育長杯）	33,000	33,000	0	
大会参加料（丹頂リーグ1）	33,000	30,000	-3,000	
大会参加料（丹頂リーグ2）	33,000	33,000	0	
大会参加料（丹頂リーグ3）	33,000	30,000	-3,000	
大会参加料（会長杯）	33,000	27,000	-6,000	
大会参加料（選手権大会）	33,000	27,000	-6,000	
ジュニアキャンプ収益	90,000	99,610	9,610	
VBフェスティバル収益	10,000	13,000	3,000	
預金の受取利子	0	637	637	r06.04.01 6円 r06.10.01 130円 r07.04.01 501円
選抜（男女）残金	0	25,920	25,920	選抜本大会参加費の差額返金分
その他	0	0	0	
合計	1,414,963	1,436,130	21,167	

支出の部

摘要	RO6予算	RO6決算	増減	備考
大会会場費（教育長杯）	37,000	30,350	6,650	釧路町総合体育館[01]
大会会場費（丹頂リーグ1）	30,000	0	30,000	
大会会場費（丹頂リーグ2）	30,000	0	30,000	
大会会場費（丹頂リーグ3）	0	0	0	
大会会場費（会長杯）	30,000	0	30,000	
大会会場費（選手権）	33,000	23,000	10,000	湿原の風アリーナ釧路[18]
大会審判料	20,000	18,000	2,000	教育長杯 7,000、丹頂リーグ1 2,000、丹頂リーグ2 1,000、会長杯 4,000、選手権 4,000
動画撮影協力の謝礼	20,000	2,000	18,000	教育長杯 2,000
大会補助役員・生徒弁当代	0	0	0	
釧路・十勝定期戦会場費	45,000	0	45,000	
釧路・十勝定期戦補助費	10,000	0	10,000	
ジュニアキャンプ会場費	30,000	0	30,000	釧路町総合体育館 ※ジュニアキャンプ参加費から支出
VBフェスティバル会場費	30,000	26,840	3,160	釧路町総合体育館[13]
選抜（男女）補助費	100,000	172,773	-72,773	帯広遠征 宿泊費、朝食代、交通費（女子）[19-21]、本大会 参加費、振込手数料（女子）、交通費、食事代、薬品代、お土産代（女子）[22-36]、本大会 参加費（男子）
選抜（女）選考会プロフィール、修了証作成費	5,000	1,574	3,426	写真代[15]
慶弔費	20,000	23,200	-3,200	正田さん香典[04]、供花[05]
旅費	40,000	6,000	34,000	前年度選抜（3月）帯同審判 交通費[02-03]
備品購入費	100,000	0	100,000	
消耗品購入費、その他	834,963	57,775	777,188	ジュニアキャンプ講師 菓子代、弁当代、飲食代[06-09]、ポリライントレープ[10,16]、フェスティバル景品[11-12,17]
合計	1,414,963	361,512	1,053,451	

収支決算

(収入) - (支出) = (残金)

1436130 - 361512 = 1074618

残金 1074618 円は、令和7年度会計に繰り越し

上記の通り、報告致します。

令和7年4月15日

釧路バレーボール協会中学校委員会 会計担当

中谷 智之



帳簿、通帳、証書類を監査の結果、適正であることを報告致します。

令和7年4月16日

釧路バレーボール協会中学校委員会 委員長

瀬谷 賢一



令和7年度 釧路バレーボール協会中学校委員会 会計予算案

収入の部

摘 要	R06 予算	R06 決算	R07 予算	備 考
前年度繰越金	1,116,963	1,116,963	1,074,618	
大会参加料（教育長杯）	33,000	33,000	30,000	女10
大会参加料（丹頂リーグ1）	33,000	30,000	30,000	女10
大会参加料（丹頂リーグ2）	33,000	33,000	30,000	女10
大会参加料（丹頂リーグ3）	33,000	30,000	30,000	女10
大会参加料（会長杯）	33,000	27,000	30,000	女10
大会参加料（選手権大会）	33,000	27,000	30,000	女10
ジュニアキャンプ収益	90,000	99,610	90,000	
VＢフェスティバル収益	10,000	13,000	10,000	
預金の受取利子	0	637	0	
選抜（男女）残金	0	25,920	0	
その他	0	0	0	
合 計	1,414,963	1,436,130	1,354,618	

支出の部

摘 要	R06 予算	R06 決算	R07 予算	備 考
大会会場費（教育長杯）	37,000	30,350	0	
大会会場費（丹頂リーグ1）	30,000	0	0	
大会会場費（丹頂リーグ2）	30,000	0	30,000	釧路町総合体育館
大会会場費（丹頂リーグ3）	0	0	30,000	釧路町総合体育館
大会会場費（会長杯）	30,000	0	30,000	釧路町総合体育館
大会会場費（選手権大会）	33,000	23,000	0	
大会審判料	20,000	18,000	20,000	※外部審判1日2,000円（弁当代込）を支給
動画撮影協力の謝礼	20,000	2,000	10,000	※動画撮影協力1日2,000円（弁当代込）を支給
大会補助役員・生徒弁当代	0	0	0	※弁当は飲み物込みで700円程度
釧路・十勝定期戦会場費	45,000	0	30,000	※R07年度は、釧路で開催
釧路・十勝定期戦補助費	10,000	0	0	※R07年度は、釧路で開催
ジュニアキャンプ会場費	30,000	0	0	
VＢフェスティバル会場費	30,000	26,840	30,000	釧路町総合体育館
選抜（男女）補助費	100,000	172,773	150,000	
選抜（女）選考会 プロフィール、修了証作成費	5,000	1,574	5,000	
慶弔費	20,000	23,200	25,000	
旅費	40,000	6,000	40,000	※JC伝達講習会、JC3次審判、3月選抜大会について、交通費（ガソリン代、高速代）を実費負担。領収書を会計係に提出
備品購入費	100,000	0	150,000	選抜（女子）のユニフォームを購入予定
消耗品購入費、その他	834,963	57,775	804,618	
合 計	1,414,963	361,512	1,354,618	

令和7年度釧路バレーボール協会中学校委員会運営組織（案）

顧問
 川端紀一 石橋芳勝
 高尾 稔 佐藤ミエ
 三上正夫 岸本秀彦
 福原 聡 日田雅也
 山田和人 山本真吾
 土江田亮一

委員長 瀬谷 賢一
 ○釧路・道協会連絡調整、中学校統括
 ・大会組み合わせに関する事
 ・年間計画案・運営組織案の作成
 ・協会に関わる事
 ・予算に関わる事
 ・JVA-MRS登録関係 その他

副委員長 島田 桂子 (審判長兼任)
 ○道協会・釧路協会連絡調整
 ○委員長の補佐

審判長 島田 桂子 (副委員長兼任)
 ○全国・道・釧路協会
 ・審判育成・確保、連絡調整

地区中体連専門委員長
 中谷 智之
 ○中体連業務
 ○1・2次キャンプ
 ○選抜関係全般
 ○講習会等企画運営
 ○事務・連絡調整他
 ○釧路十勝定期戦の企画、連絡調整
 ○チーム登録手続き
 (未登録チームへの呼びかけ)

道ジュニアキャンプ運営委員
 高橋 円
 阿部 周平
 (指導普及部長)
 島田 桂子
 ○第2,3次キャンプ
 ○選抜優勝大会他

* 役員 の 任期 は 2 年
※令和7年度役員改選予定

第1次ジュニアキャンプ運営委員会
 ○高橋 円 ・ 中谷智之 ・ 島田桂子
 ・ 宝輪秀光 ・ 豊里憲一

釧路バレーボール協会理事 瀬谷 賢一・島田 桂子・高橋 円

	担 当	業 務 内 容
競技部	■ 部長 阿部 周平 □ 副部长 秋保 健太	○大会組み合わせ及び大会要項作成 「教育長杯」「新人リーグ戦」「会長杯」「バレーボール選手権」の組み合わせを行い、大会14日前に委員長に確認を取る。確定後参加校へ連絡する。 (注：大会要項の役員は協会の人、中体連会長は副大会長とする) ○大会運営 開閉会式の進行、試合記録(スコアシート)の作成、管理 ○試合会場(当番校)との手続き・連絡 会場確保の確認と暖房通気願(冬期間大会のみ)の手続きをする。 ○新型コロナウイルス感染症対策 大会参加承諾書、参加選手一覧表の作成、保管、提出など
審判部	■ 部長 宝輪 秀光 □ 副部长 吉野 祐介	○各種大会の審判確保―道協会との連絡 ○大会運営―審判割り当て、コート点検 ○審判の育成 ○記録・ラインズマンの指導・育成 ○ルール等に関わる指導
指導普及部	<女子> ■ 高橋 円 <男子> □ 近藤 瑛人	○第1次ジュニアキャンプの企画・立案・運営 ○第1・2次指導者講習会の企画・立案・運営 ○若手指導者養成(伝達講習会ほか) ○優秀選手選抜大会の選手選考と練習 ・男女別にスタッフを決定 ○冬期バレーボールフェスティバルの企画・立案・運営 ○男子広域クラブチームの企画・立案・運営
事務・会計部	■ 部長 中谷 智之 □ 副部长 船岡 恭輔 山本 早花	○大会参加受付・審判謝礼・領収書 ○各種指導者講習会参加集約と旅費支給(道指導者講習会など) ○選抜助成金申請手続き及び選抜チームへの補助金 ○収支決算 ○賞状の準備 ○大会用具の箱の管理 ○事務一般 ○新型コロナウイルス感染症消毒関係全般 ○大会動画配信

※中学校委員会理事会は委員長、副委員長、各部部長で構成する。

令和7年度 中学校委員会事業計画(第5案)

2025/04/15現在

釧路バレーボール協会

中学校委員会

	期日	曜	事業名	会場	責任者	当番校
1	4月26日	土	第31回釧路十勝定期戦(女子) ※ 1日日程、釧路開催	釧路町総合体育館(3~4面) 富原中学校体育館(2面)	競技部	
2	5月3日 5月5日	土 月	令和7年度(第45回) 北海道中学生バレーボール選抜優勝大会	芦別市ほか	道普及部	男子: 女子:鳥取中
3	5月25日	日	教育長杯争奪中学校バレーボール大会	桜が丘中学校体育館	競技部	専門委員会
4	7月5日 7月6日	土 日	釧路地区中学校体育連盟バレーボール大会	釧路町総合体育館	専門委員長	専門委員会
5	7月31日 8月2日	木 土	第55回 北海道中学校バレーボール選手権大会	深川市 妹背牛町		
6	8月5日 8月6日	火 水	第50回北海道ジュニアバレーボール第1次キャンプ(釧路) 兼 第52回北海道ジュニアバレーボールキャンプ(第2次)予選会	釧路町総合体育館	指導普及部	
7	8月17日 8月20日	日 水	第55回 全日本中学校バレーボール選手権大会	長崎県諫早市・大村市 <small>諫早市中央体育館、諫早市小野体育館、諫早市森山スポーツ交流館、大村市体育文化センターシーハットおおむら</small>		
8	9月13日	土	釧路地区バレーボール新人リーグ戦1次リーグ	※中学校体育館	競技部	各中学校
9	10月11日	土	釧路地区バレーボール新人リーグ戦2次リーグ	釧路町総合体育館	競技部	各中学校
10	11月8日	土	会長杯争奪中学校バレーボール大会	釧路町総合体育館	競技部	専門委員会
11	11月22日	土	釧路地区バレーボール新人リーグ戦3次リーグ 11/29(土)釧路市中学校統一土曜活動日	釧路町総合体育館	競技部	
12	12月13日	土	第24回 冬季バレーボールフェスティバル	釧路町総合体育館	指導普及部	各中学校
13	1月		第52回 北海道ジュニアバレーボール第2次キャンプ		道中体連	
14	2月7日	土	釧路地区中学校バレーボール選手権大会	※中学校体育館	競技部	専門委員会
15	3月26日 3月28日	木 土	第35回 北海道中学校バレーボール優秀選手選抜大会		道普及部	

※ 4月5日(土)第1次ジュニアバレーボールキャンプ各地区推進委員指導研修会(北海道バレーボール協会指導普及部主催) 場所:北翔大学 時間:13時~

※ 5月17日(土)審判講習会(釧路バレーボール協会主催) 場所:北海道釧路江南高等学校体育館 時間:9:00~15:30

※ 釧路地区中体連監督会議 5月28日(水)17:30~ 場所:釧路市立鳥取西中学校

※ 令和8年度北海道中学校バレーボール選手権大会 江別市

※ 令和8年度全日本中学校バレーボール選手権大会 広島県開催地未定※要確認

※ 強化練習会 ①9月21日(日) ②9月28日(日) ③10月19日(日) ④10月26日(日) ⑤11月24日(月) ⑥ 11月30日(日)、釧路選抜選考会 ①12月20日(土) ②12月21日(日)

※ 令和8年5月3日(日)~令和8年5月5日(火) 第46回北海道中学生バレーボール選抜優勝大会

2025年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部 における 6人制ルールの取り扱いについて

（公財）日本バレーボール協会審判規則委員会による『2025年度6人制ルールの取り扱い』に基づき「（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部」において協議・検討を加え、「2025年度の6人制ルールの取り扱い」を決定しました。

【1】 プレーの動作に関する事項

9.2 ヒットの特性

9.2.1 ボールは身体の中のどの部分で触れてもよい。

9.2.2 ボールをつかむこと、投げることは許されない。ボールはどの方向にはね返ってもよい。

9.2.3 ボールは接触が同時であれば身体のさまざまな部分に触れてもよい。

例外：

9.2.3.1 ブロックでは、1つの動作中であれば1人または2人以上のブロッカーが連続して接触してもよい。（規則 14.2）

9.2.3.2 チームの1回目のヒットでは、1つの動作中であればボールは身体のさまざまな部分に連続して接触してもよい。（規則 9.1）

9.3 ボールをプレーするときの反則

9.3.1 フォアヒット：チームが返球する前にボールを4回ヒットすること。

（規則 9.1，第 11 図⑩）

9.3.2 アシステッドヒット：選手が競技エリア内でボールをヒットするために、チームメイトまたは構造物や物体からの助けを得ること。（規則 9.1.3）

9.3.3 キャッチ：ボールをつかむ、または投げること。この場合、ボールはヒット後、接触しているところから離れない。（規則 9.2.2，第 11 図⑪）

9.3.4 ダブルコンタクト：1人の選手が連続してボールを2回ヒットすること、またはボールが1人の選手の身体のさまざまな部分に連続して触れること。

（規則 9.2.3，第 11 図⑫）

（注）

- 1 プレーのハンドリング基準は、すべて同一である。
- 2 ボールは、クリアにヒットされなければならない。ボールをヒット後、接触している部分から離れないと判断された場合はキャッチの反則となる。
- 3 ボールをつかむ、投げる、ボールの方向を変える、持ち上げる。このようなプレーはキャッチの反則となることがある。ファーストレフェリーは、ボールが接触している状況を的確に判定する。
- 4 特にオーバーハンドパスにおいて、手の中に止まるケースや長くとどまるようなプレーは、キャッチの反則となる。

中体連でも同様に扱う。

※ レフェリーの資質向上がバレーボールにおける競技力向上に資することを踏まえ、これまで同様、プレーを的確に判定する必要がある。判定基準が厳しくなったものではないことから、各ブロックや都道府県における伝達では、指導者や選手に誤解を与えないことのないよう実技研修を取り入れるなど、配慮する必要がある。

10.1 ネットを通過するボール

10.1.2.3 チームが2回目または3回目にヒットしたボールの全体または一部が許容空間の外を通過して相手フリーゾーンに行った場合は、ボールを取り戻すことはできない。ボールがネット垂直面を越えた時点でアウトとなる。

(注)

- 1 ファーストレフェリー、セカンドレフェリーは、2回目または3回目にヒットしたボールが、それぞれのレフェリーサイド許容空間外側のネット垂直面を通過した瞬間にホイッスルをする。

中体連でも同様に扱う。

11.4 ネット近くの選手の反則

11.4.1 相手チームのアタックヒットの前に、選手が相手空間でボールもしくは相手選手に触れたとき。(規則 11.1.1, 第 11 図⑳)

(注)

- 1 相手空間内で、相手のアタックヒット前にブロッカーがボールに触れた場合が反則となる。
- 2 アタックヒットと同時にブロックの手がボールに触れても、反則ではない。

中体連でも同様に扱う。

12.3 サービスの許可

ファーストレフェリーは両チームがプレーする準備ができて、サーバーがボールを持っていることを確認した後にサービスを許可する。(第 11 図㉑)

(注)

- 1 コート上に5人だけ、または7人の選手がいるときには6人になるよう、サービスのホイッスルの前に促す。

もしファーストレフェリーがそのことに気づかずにサービスのホイッスルをした場合、およびラリーが始まったり完了した場合、ファーストレフェリーはそのことに気づいたら直ちに罰則無しにラリーをやり直さなければならない。

- 2 ポジション4にリベロがいる場合は、ファーストレフェリーはチームが正規の選手にリプレイスメントするのをサービス許可のタイミングまで待つ。それでもリプレイスメントが行われない場合は、セカンドレフェリーを通してアシスタントスコアラーに確認後、リプレイスメントさせ、その後遅延の罰則を与える。

もしラリーが始まった場合、ポジショナルフォルトとして処置をする。

- 3 サービス許可のタイミングで、その他の不法なリベロリプレイスメントが行われており、ファーストレフェリーが分かっている場合も、上記2と同様の処置を行う。

中体連でも同様に扱う。

12.5 スクリーン

12.5.1 サービングチームの選手は、1人または集団でスクリーンを形成してサービスヒットおよびサービスボールのコースが相手チームに見えないように妨害をしてはならない。

12.5.2 サービスが行われるとき、サービングチームの1人または複数の選手が集団で腕を揺り動かしたり、跳びはねたり、左右に動いたりして、あるいは集団で固まって立ち、サービスヒットとボールのコースの両方をボールがネット垂直面に到達するまで隠すことでスクリーンとなる。サービスヒットまたはボールのコースがレシービングチームに見えるのであればスクリーンではない。（第6図）

12.5.3 サービングチームの選手は、サービスボールがネットを越えるまで、手を頭より上にあげてはならない。

意図的なスクリーンが疑われる場合、ファーストレフェリーはゲームキャプテンを通じてチームに注意することができる。

(注)

- 1 チームが意図してスクリーンを形成している場合や、プレーヤーが手を頭より上に上げている場合（頭を保護するために、頭の後ろに手を上げることは許される）、スクリーンの反則になることがある。
- 2 上記のようなケースをサービス許可前に気づいた場合は注意をする。また、サービス許可後に生じた場合はラリー終了後に注意をする。

中体連でも同様に扱う。

※ レフェリーは、「相手のプレーを妨害することなく、フェアにプレーを行う。」というルール改正の主旨を十分に理解するとともに、試合や研修を通して、指導者や選手に対し継続した指導を行う必要がある。

【2】 プレーの構造に関する事項

7.4 ポジション

サービスヒットの瞬間，両チームは（サーバーを除き）それぞれのコート内に位置していなければならない。レシービングチームの選手はサービスヒット時，ローテーション順に位置していなければならない。

サービングチームの選手はサービスヒット時，どの位置にいてもよい。

7.4.3 選手のポジションは次のとおりコート面に接している両足の位置（最後にコート面に接触していた部分）により決定し，コントロールされる。

7.4.3.1 各バックプレーヤーは対応するフロントプレーヤーと同じ位置にいるか，少なくとも片方の足の一部が対応するフロントプレーヤーの前の足よりセンターラインから遠い位置にいなければならない。

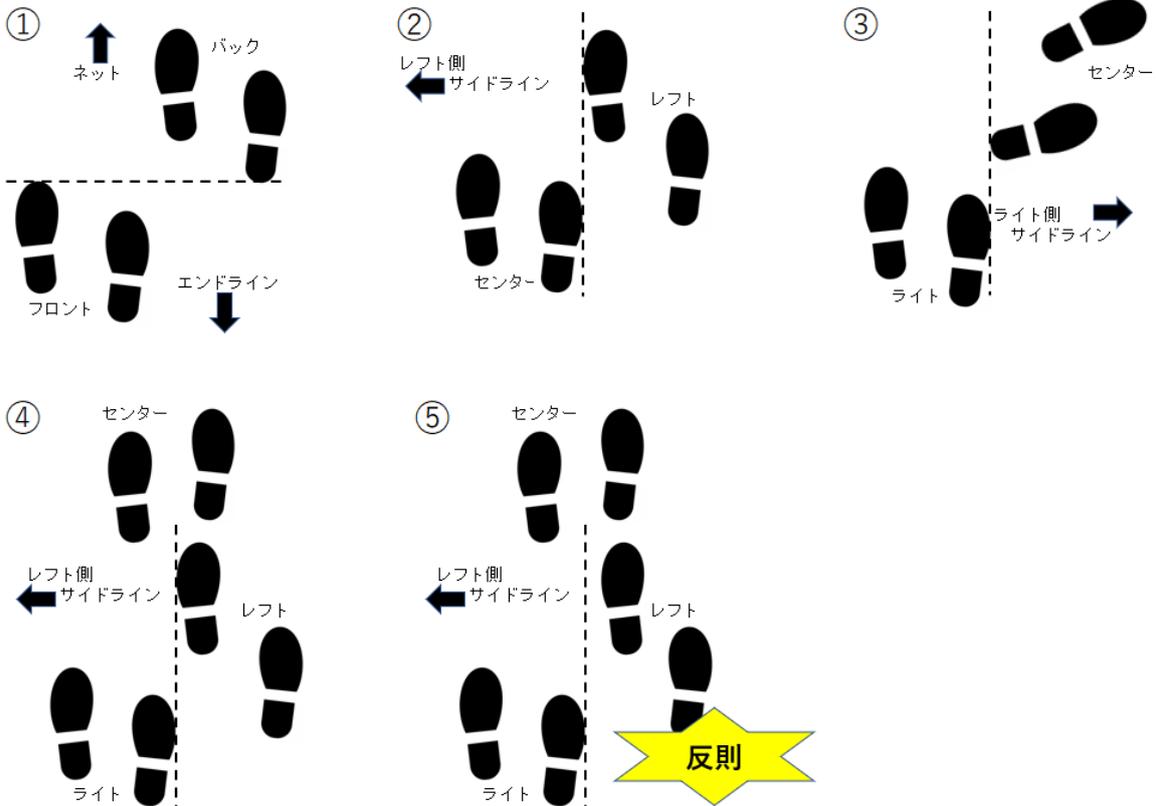
7.4.3.2 ライト（レフト）サイドの各選手は同じ列の他の選手のライト（レフト）側から遠くにある足と同じ位置か，少なくとも片方の足の一部がライト（レフト）のサイドラインに近い位置にいなければならない。

（注）

- 1 サービングチームはローテーション順に位置していなくても反則にはならないが，コート内に位置していないと反則となる。また，サービングチームはフリーポジションではないので，レフェリーはフロント・バックなどのポジションの確認は必要である。
- 2 レシービングチームのポジションの反則が成立するのは，サービスヒットの瞬間である。そのためサーバーがボールをリリースしてからヒットの瞬間までに，ポジションが完全に入れ替わったケースは反則となる。
サービスヒットの瞬間に，完全に入れ替わり反則となっているケースがあるため，レフェリーはポジションを常に把握しなくてはならない。
- 3 サービスヒットの瞬間に，コート面に接している足がない場合，最後にコート面に接触していた部分を基準とする。

(注)

下図①から④はいずれも反則とならない。



中体連でも同様に扱う。

【3】 競技参加者の行為に関する事項

20.1 スポーツマンにふさわしい行為

20.1.1 競技参加者は公式バレーボール規則に通じていなければならない。また、それを忠実に守らなければならない。

20.2 フェアプレー

20.2.1 競技参加者はレフェリーだけでなく、他の役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆に対してもフェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動しなければならない。

(注)

- 1 ファーストレフェリーの判定に対するゲームキャプテンの質問は受け入れるが、その内容がルールの取り扱い等に関する質問ではなく、判定に対する抗議や意見を述べる等の場合やゲームキャプテン以外の選手が質問に来た場合は、拒否する。
- 2 競技参加者が、規則 20 に反した場合、警告が与えられる。繰り返した場合は、ペナルティが科せられる。
- 3 不法な行為については、その程度の種類に応じて、適切な処置を行う。

- 4 競技参加者が、レフェリーに向かって判定に対して執拗に抗議するような態度をとった場合、警告が与えられる。繰り返した場合は、ペナルティが科せられる。

【主にステージ 1 に該当するケース】

- ①ファーストレフェリーが最終判定を出した後にもレフェリーに不満を示す態度や言葉を発した場合。
- ②ファーストレフェリーがゲームキャプテンの質問に答えた後にも、さらに論争を長引かせるようにした場合。
- ③規則の適用や解釈でない内容の質問が、ゲームキャプテンから繰り返された場合。
- ④一度指導されているのに、再びゲームキャプテン以外の選手が判定に対して質問をした場合。
- ⑤ネット越しに相手の選手などに対して、ガッツポーズ等牽制する行為などがあった場合。

【主にステージ 2 に該当するケース（直接イエローカードを出すケース）】

- ①ファーストレフェリー、セカンドレフェリーやラインジャッジの判定に対して抗議や不服的な態度を必要以上に示した場合。
 - ②ファーストレフェリー、セカンドレフェリーやラインジャッジの判定に対して、ベンチスタッフや控えの選手がベンチから飛び出して判定に異議を訴えた場合。
- 5 試合中に監督をはじめチームスタッフやゲームキャプテン以外のチームメンバーが、レフェリーに質問等、発言をすることはできない。
ただし、監督はリベロの再指名の時や得点が正しくない時などの声かけ程度のものができるが、セカンドレフェリーやスコアラーに、説明を求めたり、長く話しかけたりするようなことはできない。
- 6 監督が、試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながら歩きながら指示を出している場合、ラインジャッジ（特にL2・L3）の判定の妨げにならないようにレフェリーが注意する。
ラリー終了後、レフェリーの判定に影響を及ぼす行為に対しては、直ちに罰則を適用する。
- 7 試合終了後、監督・ファーストレフェリー・セカンドレフェリーはフェアプレーの精神でお互いに「握手」を交わす。

中体連でも同様に扱う。

※ 軽度な不法な行為に対する警告は、その後の再発を防ぎ、中学生がフェアプレーの精神を身につけるために、躊躇することなく、早い段階でステージ 1 またはステージ 2 を与え対処すべきである。ただし、中学生は上記のような対処を知らない場合があり、必要に応じて説明し、礼儀正しく指導する必要がある。

- ※ 日本中体連において、不法行為等で監督が退場・失格になった場合、試合を続けることができない。ただしバレーボール競技部では、監督に代わり引率責任を負える者が会場内にいる場合、試合を続けることができることとしている。なお、クラブチームは、監督に代わり資格を有するコーチがベンチにいる場合、試合を続けることができることとする。ただし、いずれの場合も代理の者が監督としての権利を持つことはできず、退場・失格になった監督は、大会を通して監督に復帰することはできない。
- 6 中体連においても、監督が、試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。その場合、監督の言動が選手に与える影響を考え、適切な指導が行われるよう、レフェリーは、十分に注意を払う必要がある。ラリー中やラリー後に、監督における、選手への不適切な言動や、レフェリーの判定に影響を及ぼす行為に対しては、直ちに罰則を適用する。また、ラインジャッジの視界を遮っていたり、ラインジャッジの判定に影響を与えるような位置（近すぎてラインジャッジが威圧感を感じる…など）にいたりする場合は、適宜、レフェリーが、監督に指導する。
- 7 試合終了後、監督・ファーストレフェリー・セカンドレフェリーの握手については、これを奨励し、協力を求めていく。

【4】 リベロ

19.4 新しいリベロの再指名

19.4.1 リベロは負傷、病気、退場、または失格によりプレーをすることができなくなる可能性がある。

監督または監督が不在の場合、アシスタントコーチあるいはゲームキャプテンはいかなる理由であってもリベロがプレーできなくなったことを宣言することができる。

19.4.2.1 規則 19.4.1 によりリベロが 1 人しかいなくなった場合または 1 人しか登録されていない場合にそのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はアシスタントコーチあるいはゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない（リベロと入れ替わった選手を除く）他の選手を、試合終了までリベロとして再指名することができる。

19.4.2.2 監督または監督不在の場合、アシスタントコーチあるいはゲームキャプテンはセカンドレフェリーに再指名について申し出る。

中体連のアシスタントコーチは、資格と権利に制限があるため、今年度の（公財）日本中体連バレーボール競技部の常任委員会において検討する。したがって今年度は同様に取扱いされない。